

教 育 民 生 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 平成21年12月7日(月曜日)
午前9時53分~午前11時36分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 布施文子 委員長 河本芳久 副委員長
徳並伍朗 委員 大中 宏 委員
原田 茂 委員 山本昌二 委員
萬代泰生 委員 有道典広 委員
秋山哲朗 議長
4. 欠席委員 なし
5. 出席した事務局職員
重村暢之 局長 岩崎敏行 係長
佐伯瑞絵 係長
6. 説明のため出席した者の職氏名
村田弘司 市長 林 繁美 副市長
永富康文 教育長 國舛八千雄 教委事務局長
松本孝志 教委学校教育課長 杉原功一 教委社会教育課長
高橋文雄 教委文化財保護課長 福田雄一 教委体育振興課長
佐藤和美 教委美東事務所長 篠田 尊 教委秋芳事務所長
山田悦子 市民福祉部長 古屋勝美 市民福祉部次長
田代裕司 市民福祉部地域福祉課長 佐々木 郁夫 市民福祉部生活環境課長
岡村恵右 市民福祉部高齢障害課長 竹澤 茂 美東総合支所市民福祉課長
山藤優子 秋芳総合支所市民福祉課長

午前9時30分開会

委員長（布施文子君） おはようございます。時間遅れまして申し訳ございません。打ち合わせがございました。それでは、只今より教育民生委員会を開会いたします。先の本会議におきまして本委員会に付託されました議案5件につきまして審査いたしたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。市長さんご報告等ございませんか。

市長（村田弘司君） ございません。よろしくお願いいたします。

委員長（布施文子君） 議長さん、いかがですか。

議長（秋山哲朗君） ございません。よろしく申し上げます。

委員長（布施文子君） 各委員さんご報告等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それでは、これより審査を始めます。まず最初に、議案第15号美祢市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の廃止についてを審査いたします。執行部より説明を求めます。はい、岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） それでは、議案第15号美祢市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の廃止についてご説明いたします。現在の美祢市老人福祉センターは老人健康増進、老人の教養の向上及びレクリエーション、老人クラブ等育成に基づき目的で昭和49年6月に設置された施設でございます。現在社会福祉協議会指定管理者として管理業務を委託しておりますが、この度建物の老朽化により雨漏りも大変ひどく、また老人福祉センターの施設として設置しなければならない機能回復訓練室や浴場について老朽化等から機能してない状況でございます。従いましてこの施設を継続して使用することについても雨漏りや浴場の補修等に多額の経費を要すること、また現在社会福祉協議会が事務所として使用しておりますが、社会福祉協議会も合併を市職員の増等スペース的に手狭な状態でございます。美祢市老人福祉センターを今年度末でもって廃止することとし、本施設の設置及び監理に関する条例を廃止するものでございます。この条例の廃止期日は平成22年4月1日から施行となります。なお市といたしましては老人福祉センターにおける高齢者福祉業務は利用者も大変多く高齢者福祉行政を推進する立場からして是非必要でございますので引き続き社会福祉法人に委託する予定でございます。以上で説明を終わります。

委員長（布施文子君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。はい、河本副委員長。

副委員長（河本芳久君） 市長の提案説明の中にも今説明があったようなことがありましたが、一応この施設が老朽化して廃止と、条例も廃止するとこれに変わる代案とかそういう計画が今後あるのかないのかこの辺を確認したいと思います。

委員長（布施文子君） 岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 老人福祉センターにつきましては現在の老人福祉に関する業務を今の社会福祉協議会のほうでやっております。業務につきましては引き続き継続し新たなところで実施をするということでセンターの建物については廃止をさせていただくと新たなところで業務開始をするということでございます。内容につきましては老人の生活相談、いわゆる健康相談、あるいは老人の生業及び就労等、老人クラブに関すること、各種講演会、各種ボランティア活動等がございますが、それは引き続き新たなところであるということでございます。以上です。

委員長（布施文子君） はい、河本副委員長。

副委員長（河本芳久君） 今あそこで例えば囲碁とかお年寄りの交流の場としている活用されております。それに変わるような大体同じような一つの集いの場としての準備も予定されておるわけですね。新たな場所で。（発言する者あり）

委員長（布施文子君） 他にございませんか。よろしゅうございますか。はい。

委員（萬代泰生君） この施設廃止するということですが、高齢者福祉に関する事業については今後委託事業として実施すると、先程説明の中で雨漏りがしたりしてるとそういうものの修理ということはされないんですか。そのまま放置されるわけですか。そこを一つお願いします。

委員長（布施文子君） はい、岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 後程一般会計のほうの補正のほうでその当たりはですね出したいというふうに思っております。

委員長（布施文子君） よろしゅうございますか。その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それでは、これより議案第15号美祢市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の廃止についてを採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） 全員異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第1号平成21年度美祢市一般会計補正予算（第6号）を審査いたします。本委員会の所管事項につきまして執行部より説明を求めます。また、各会計において歳出の人件費の補正で人事院勧告に基づく職員の給与会計に伴う減額補正また人事異動に伴う給与の増減補正につきましては説明を省略させていただこうと思いますが、委員さん方それでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それでは説明を省略して結構でございます。よろしくお願いたします。はい、田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） それでは、一般会計補正予算（第6号）28ページ、9ページをご覧ください。歳出からご説明を申し上げます。そのページの中程でございますけれども、民生費・項社会福祉費・目社会福祉総務費でございます。目の1でございますが、社会福祉総務費、経費であります。現在、美祢市社会福祉協議会は事業を老人福祉センターにおいて、展開しておりますが、今日同センターの老朽化に伴う雨漏り、また市から福祉関連事業受託され精力的に展開されておることにより、手狭となっておりますこともございますが、これに対応するため今日、市が賃貸借契約により借り受けております旧山口県土地改良事業団体連合会美祢出張所に移転する予定にしておりまして、この移転に伴う施設整備にかかる工事請負費であります。998万円をお願いをしておりますが、2分の1の499万円を美祢市社会福祉協議会にご負担いただくこととしております。次の社会福祉協議会運営費補助金でございます。当初予算におきまして6,814万4,000円をお認めいただいておりますが、当該補助金につきましては社会福祉協議会職員の人件費部分に対して交付をしております。給与などは格付けは別といたしまして市職員に準ずることとしておりますことから市職員と同様に減額調整を行うことにより155万6,000円の減額補正をお願いするものであります。以上でございます。

委員長（布施文子君） 岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 続きまして、2の障害者福祉費の2,911万8,000円の補正でございます。障害者福祉経費といたしまして1,058万3,000円で内訳といたしましては、新事業移行促進事業補助金の31万1,000円でございます。この事業は平成18年の障害者自立支援法が制定される前の旧体系でのサービスで現在運営されてる事業所いわゆる授産施設、厚生施設、常用施設がございますが、これの事業所が新たに自立支援法に基づく新体系での日中活動系また

居住系、訪問系等の利用などの障害者の利用幅広く利用することができる事業所に移行支援を行うことにより促進費として事業所に対して補助をする事業でございます。財源につきましては国・県で4分の3補助があります。次に障害者自立支援給付事業国庫負担金返還金524万2,000円の補正でございます。これは平成20年度において療養介護及び負担金入所者等自立支援給付費、いわゆる療養費とか補装具とかそういったものですが、これが当初見込みより少なかったことにより国に返還をするものでございます。次に障害者医療費国庫負担金返還金160万6,000円の補正でございますが、これも平成20年度において医療費の10割負担するいわゆる生活保護者受給者3名を見込んでおりましたが、実績として1名のみでございましたので、減額により国に返還するものでございます。次に、障害者自立支援給付事業費等県負担金返還金342万4,000円の補正ですが、先程説明いたしましたように平成20年度の生活保護者時給者医療費の実績減により国庫負担金同様県に返還するものでございます。次に、扶助費の障害者自立支援給付事業、介護訓練等扶助1,853万5,000円の補正でございますが、これは平成21年度において県内の9施設に入所されてる19名の方が、先程、促進費で説明いたしましたように新事業移行促進事業に移行することにより旧法の体系のサービス、いわゆる自立支援法ができる前のサービスでございますが、から新たに新体系へのサービスに移行されたことに伴う利用者への給付費とそれと介護訓練等の利用者の増加、当初見込みよりかなり増えたということにより給付費を補正するものでございます。これも国・県で4分の3負担をすることになっております。めくって頂きますと老人福祉費の操出金の老人福祉経費636万9,000円の補正ですが、これにつきましては介護特会職員の人件費及び看護認定調査員の賃金として、介護保険事業会計へ特会のほうへ操出をするものでございます。以上です。

委員長（布施文子君） 田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 続きまして、目4福祉医療助成事業費であります。節扶助費であります。まず重度心身障害者分といたしまして、1,205万6,000円お願いしております。これは当初山口県では65歳から74歳までの重度心身障害者は後期高齢者医療制度の加入が摘要条件としておりましたけれども、周囲からの要望また厚生労働省内の会議で10道府県に対して用件の見直しを求める発言もございまして、県が摘要条件を撤廃したことによりまして医療費負担額が増加したため補正予算をお願いをするものであります。次の乳幼児分であります。乳幼児

分といたしまして、759万9,000円の減額補正をお願いしております。これは受給者の減少により件数、金額ともに減少したことによるものであります。続きまして、1人親家庭分といたしまして、90万1,000円をお願いしております。これは福祉医療の対象となる受給者数、件数はわずかに減ってはおりますけれども単発で入院、治療した方が昨年度と比較して多いことによるものであります。以上でありますけれども県補助金は減額されますけれども高額医療費返還金が見込まれることから福祉医療助成事業補正予算に対する一般会計のさらなる持ち出しは生じません。以上です。

委員長（布施文子君） 山田福祉部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 続きまして、目6国民年金費・委託料です。社会保険事務局に磁気媒体の国民年金名簿を移管するための電算システム変更委託料31万5,000円の増額です。

委員長（布施文子君） 岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 次に老人福祉センター費の工事請負費131万4,000円でございます。先程の萬代委員のほうから質問のありました件でございます。現在、美祢市老人福祉センターは、社会福祉協議会に指定管理をしておりますが、この度、先程、言いましたように建物の老朽化等により2階の相談室、大広間等各部屋において雨漏りがひどく施設の管理上大変苦慮してるところから今回雨漏り等の修繕に伴う経費として131万4,000円を計上しております。以上でございます。

委員長（布施文子君） 山田福祉部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 続きまして、目9国民健康保険費・操出金です。これは国民健康保険事業特別会計への操出金で人件費分として1,050万8,000円の減額補正です。次に目10後期高齢者医療費・負担金、補助及び交付金21万6,000円の増額補正です。これは、はり、きゅう施術負担金で利用者の増加によるものです。

委員長（布施文子君） 田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 32ページ、33ページをご覧ください。項児童福祉費・目児童福祉総務費、ファミリーサポートセンター運営事業であります。ファミリーサポートセンターは8月1日から社会福祉協議会に業務を委託し、9月1日開所式を挙行いたしまして、会員の募集を開始をいたしました。10月1日から既

にサービスを行っておりますが、現在、会員数は援助受けたい会員52名、援助行いたい会員42名、両方の意向のある会員11名でありまして、計105名で100名を超えたところであります。今回の54万6,000円の補正予算をお願いしておりますけれどもこれはセンターに従事するアドバイザーの賃金、保険料に充当するものであります。当初予算案編成時の段階では委託先の決定を見ておりませんで日額賃金単価を市臨職員単価で見積もってございましたが、社会福祉協議会に当該事業をすることが決定したのち周辺自治体の状況など調査した結果、児童クラブ指導員の単価に併せることが適当との判断をさせていただきました。今回賃金、保険料併せて54万6,000円の補正をお願いをするものであります。なお、このことによりまして一般財源の持ち出しはございません。続きまして、子育て応援特別手当であります。当該事業は経済危機対策及び幼児教育費の家庭における負担に対する配慮から平成20年度実施分から引き続き21年度も実施することで9月補正予算において事務費と併せて2,425万円お認めいただいたところでございますけれども、10月に厚生労働省はふるさと応援特別手当の趣旨を活かしつつより充実した新しい子ども手当の創設など子育て支援策を強力に推進するため執行を停止するという決定がなされたことにより手当本体及び事務費、計2,418万7,000円の減額補正をお願いするものであります。なお、当該事業実施準備のため既に需用費を6万3,000円執行しておりますが、執行済額につきましては国庫補助金で対応可能との通知を受けております。34ページ、5ページをご覧ください。項生活保護費・目扶助費、生活保護扶助経費であります。これは生活保護受給者に対する生活扶助等の扶助費であります。今日景気の低迷などが原因で失業者も多く昨今の特色といたしましては50歳代の若年層の増加、雇用保険受給が終了したものなど10月末現在保護状況は117世帯、153人であり平成20年10月と比較しまして16世帯、23人増加しております。以上の状況において今回の生活扶助987万2,000円を、また住宅扶助375万円を教育扶助17万8,000円を、医療扶助530万3,000円を、また施設事務費扶助15万1,000円を、なお介護扶助は奨学費サービスに移行したために100万8,000円の減額補正をお願いし、計1,824万6,000円をお願いするものであります。なお12月分から母子加算が復活いたしましたが、生活扶助費に加算をし、お願いをしております。以上でございます。

委員長（布施文子君） はい、佐々木課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） 続きまして、4款衛生費・1項保健衛生

費・1目保健衛生総務費でございます。保健衛生総務経費、未給水地区飲料水水源確保事業補助金120万円でございます。未給水地区の飲料水確保としてボーリング事業を行う場合に1件30万円の上限ですけれども補助をしております。今年度においてはこれまで個人6件、共同1件を既に補助しておりますけれどもそれ以外に現在3件の希望が出ているところでございます。従いまして、120万円の補正をお願いしております。以上でございます。

委員長（布施文子君） 古屋市民福祉部次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） それでは引き続きまして、目2の予防費でございます。節13委託料で173万9,000円でございますが、これは日本脳炎ワクチン接種委託料でございます。従来の日本脳炎ワクチンより副作用が少ないとされる乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの接種が今年6月から始まりました。従来型のワクチンは副作用の恐れが指摘されまして、積極的な接種勧奨が控えられておりました。新しい日本脳炎ワクチンの接種が始まったことによりまして、これまで控えていた対象者も接種をするようになってきております。当初予算では100人分の57万7,500円を計上しておりましたが、この度、合計で310人接種すると見込みまして不足額173万9,000円の補正をお願いするものでございます。続きまして、節の20扶助費の新型インフルエンザ対策事業費として1,270万5,000円を計上しておりますが、これは生活保護世帯を含めた市民税非課税世帯、いわゆる低所得者層へのワクチン接種費用扶助であります。優先接種対象者である妊婦、基礎疾患を有するもの1歳から9歳までの小児、10歳から18歳まで、小学校4年から高校生までが、それと65歳以上の高齢者が対象でございます。美祢市内では約3,600人を見込みまして接種率90%で計上したものです。1歳から18歳までは2回接種で単価は6,150円、その他は1回接種で3,600円となっております。なお2分の1が国費、4分の1が県費負担でございます。市費としては4分の1の負担となっております。以上です。

委員長（布施文子君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） 48ページ、49ページをお開き下さい。10款教育費・2項小学校費の目2教育振興費に129万7,000円の補正をお願いするものでございます。扶助費でございますが、内訳は修学援助費が122万5,000円でございます。これは当初151人を見込んでおりましたけれども10月15日現在で177人と大幅に増加したこと、更に11月から3月まで10人の増加が

見込まれるということでの補正でございます。それから特別支援教育修学奨励費で7万2,000円であります。これは予算編成時には21名ということで見込んでおりましたけれども23名ということになったことの補正であります。以上です。

委員長（布施文子君） 国舛教育事務局長。

教育委員会事務局長（国舛八千雄君） それではご説明させていただきます。目3の学校施設整備費でございます。1億7,399万7,000円の補正をお願いするものでございます。小学校施設3棟の耐震化に要する経費でございます。001の学校施設整備費の監理委託料537万円でございます。これにつきましては伊佐小学校の校舎、そして城原小学校、川東小学校の屋内運動場の耐震化工事の監理委託料でございます。次に施設整備工事1億6,862万7,000円でございますが、伊佐小学校の校舎、城原小学校、川東小学校の屋内運動場の耐震化補強の工事費でございます。次に3項の中学校費でございます。目3の学校施設整備費でございます。7億8,514万9,000円の補正をお願いするものでございまして、中学校施設5棟の耐震化に要する経費でございます。001の学校施設整備経費の手数料24万5,000円でございますが、これにつきましては、大嶺中学校、秋芳北中学校の屋内運動場の建築確認申請のための県証紙代でございます。次に設計委託料の2,070万8,000円でございますが、美東中学校の校舎2棟と秋芳南中学校の校舎、そして大嶺中学校、秋芳北中学校の運動場の実施設計及び改築となります大嶺中学校、秋芳北中学校の地質調査の経費でございます。次に監理委託料の799万円でございます。美東中学校と秋芳北中学校の耐震化補強工事の監理委託料でございます。そして次の仮設校舎のリース料2,100万円でございますが、これは秋芳南中学校の仮設校舎のリース料でございます。秋芳南中学校は校舎の外壁だけでなく教室の内部の補強工事も必要となりますのでこの仮設校舎を設置するものでございます。次に施設整備工事費でございますが、7億3,520万6,000円、これにつきましては、美東中学校の校舎2棟、そして秋芳南中学校の校舎の耐震補強工事、それと秋芳北中学校と大嶺中学校の屋内運動場の改築の工事費でございます。1枚めくって頂きまして50、51ページをお願いを申し上げます。4項の幼稚園費・目が幼稚園費でございます。001の幼稚園経費の幼稚園就園奨励費補助金106万8,000円でございますが、当初200人を対象といたしまして補助を見込んでおりましたが、園児の入退園等はございますが、10人程度が増えまして210人前後になるという見込みでございますので、106万8,000円の補正をお願いするものでございます。以上

でございます。

委員長（布施文子君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） それでは、款教育費・項社会教育費・目3の図書館費、そちらのほうの右のページをご覧ください。こちらのほうの下になります美祢図書館経費でございます。こちらの図書館費でございます。これは薬仙石灰株式会社の会長されておられます江藤行夫氏よりいただきました寄附により図書を購入するものでございます。昨年は同社創業60周年の節目ということで伊佐中学校、伊佐小学校に寄附をいただきました。今年は図書館に50万円の寄附をいただいております。図書館書籍の整備に役立ててほしいという本人の希望により書籍を購入するものであります。備品購入費として50万円をお願いするものでございます。

委員長（布施文子君） はい、岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） それでは歳入のほうご説明いたします。議案書の12、13でございます。民生費国庫負担金・社会福祉費負担金の障害者自立支援給付費事業926万7,000円でございます。これは先程歳出のほうで説明いたしました旧体系サービスから新体系へのサービス移行に伴う利用者及び利用者分、更に介護訓練等の扶助の国庫負担分でございます。以上です。

委員長（布施文子君） はい、田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 続きまして、節2児童福祉費負担金であります。子育て応援特別手当執行停止分に対応する減額補正分2,418万7,000円をお願いをしております。次に、節3生活保護費負担金であります。まず生活保護費1,368万円お願いしております。歳出でお願いしております1,824万6,000円の国庫負担金部分でございますが、続きまして一番下になりますけれども生活保護費負担金の前年度精算交付分136万9,000円は平成20年度精算後の国庫負担金の不足分の収入が見込まれますためにお願いをしております。以上でございます。

委員長（布施文子君） はい、岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） めくって頂きまして、次に、民生費国庫補助金・社旗福祉費補助金の障害者自立支援施行円滑化事務等特別支援事業補助金の100万円でございます。これは障害者自立支援法の施行に伴い自立支援制度の基盤の安定化と適正化な運営を図るために各市町村に一時的に助成する補助金でございます。以上です。

委員長（布施文子君） はい、田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 節に児童福祉費補助金であります。ファミリーサポートセンター運営事業の国庫補助金部分51万3,000円お願いをしております。以上です。

委員長（布施文子君） 国舛教育事務局長。

教育委員会事務局長（国舛八千雄君） 6の教育費国庫補助金、補正を5億434万5,000円でございます。節1の小学校費補助金で8,484万3,000円でございます。最初の特別支援教育修学奨励費2万7,000円でございますが、これは前年度の見込みから2万7,000円を組ませさせて頂いております。次に、安全安心な学校づくり交付金8,481万6,000円でございますが、伊佐小学校、城原小学校、川東小学校の3校の耐震化工事の国庫補助金でございます。補助率は伊佐小、城原小は2分の1、川東小は3分の2ということになっております。次に、2の中学校費の補助金でございます。安全安心な学校づくり交付金として4億1,914万6,000円でございますが、美東中学校、そして秋芳南中学校の耐震補強の工事及び大嶺中学校と秋芳北中学校の改築工事の国庫補助金でございます。補助率といたしましては美東中学校は2分の1、秋芳南中学校は3分の2、そして建て替えとなります大嶺中学校、秋芳北中学校につきましては100分の55ということになっております。次に、3の幼稚園費の補助金でございます。幼稚園就園奨励費35万6,000円をお願いしておりますが、国庫補助率が3分の1ということになっておりまして、106万8,000円の3分の1ということで35万6,000円を補正をお願いをしております。以上でございます。

委員長（布施文子君） はい、山田部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 続きまして、14款国庫支出金・委託金・民生費委託金、社会福祉費委託金31万5,000円の増額です。これは国民年金事務費交付金で歳出で説明をいたしました電算システム変更委託料に対して全額が交付をされます。

委員長（布施文子君） はい、岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 民生費県負担金で社会福祉費負担金の障害者自立支援給付事業463万3,000円でございます。これも先程の国庫負担金同様新体系、移行する利用者分及び介護訓練等扶助の県からの交付金4分の1であります。以上です。

委員長（布施文子君） はい、田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 16ページ、17ページをご覧ください。中程でございますけども県支出金・県補預金・目民生費県補助金・節社会福祉費補助金であります。福祉医療助成事業医療費等といたしまして305万6,000円の減額補正をお願いしております。これは福祉医療助成事業に対応する県補助金ですけれども高額療養費が当初見込み以上の収入が見込まれるため県補助金の減額補正をお願いするものであります。

委員長（布施文子君） はい、岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 次に、その下の新事業移行促進事業補助金の23万3,000円ですが、先程、歳出で説明いたしました障害者サービス事業の旧体系から新体系への移行を促進するための促進費の県からの補助金でございます。以上です。

委員長（布施文子君） はい、田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 次の節に児童福祉費補助金であります。ファミリーサポートセンター運営事業といたしまして7万4,000円お願いをしております。これは歳出で説明いたしましたけれども運営事業費の増額補正に伴う県補助金部分であります。4分の1県補助金をいただくことにしております。以上です。

委員長（布施文子君） 古屋次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） 目3衛生費県補助金でございます。節1保健衛生費補助金952万8,000円でございますが、新型インフルエンザワクチン接種費用関わる歳入でございます。国費・県費併せて4分の3の歳入となっております。

委員長（布施文子君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） それでは次のページをお開き下さい。款寄附金・項寄附金・目といたしまして10教育費寄附金でございます。説明の欄でございますが、図書館費寄附金でございます。50万円をお願いしております。これは先程ご説明いたしました寄附金に対するものでございます。

委員長（布施文子君） はい、田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 同ページの一番下になりますけれども諸収入・項雑入・目雑入・節3民生雑入であります。高額医療費返還金1,451万円お願いをしております。これは福祉医療分の高額療養費返還金でありまして、福祉医療助成事業に充当いたします。次ですが、社会福祉協議会建物改修費負担金499万円

をお願いしておりますけれども、これは旧土地改良事業団体連合会美祢出張所の施設整備費の2分の1部分を美祢市社会福祉協議会が負担されるものであります。以上です。

委員長（布施文子君） 説明が終わりました。質疑はございませんか。はい、山本委員。

委員（山本昌二君） 1 - 3 1 ページお願いいたします。民生費の中の目の4項に扶助費がございますが、その項で759万9,000円の減額 がついておりますですね、これはいわゆる受給者の減少と言う説明がございましたが、当初どのやはり子どもさんが生まれると言うことは非常に大切なことでございますが、これは実績ですからやむを得ないと思いますけれども何人当初見込んでいたものかちょっとお聞きしたいと思います。以上です。

委員長（布施文子君） はい、田代課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 減額補正分は乳幼児分でございますけれども平成20年度の受給者数が988人おられました。21年度の受給者は987名、若干の1名でございますけれどもこの当たりの減額分、1名の減額分にしては大きいかと思っておりますけれども当初見込み次来の各月の受給者数により、また診療内容によりまして医療費部分が減ったためと思われれます。以上でございます。

委員長（布施文子君） はい、山本委員。

委員（山本昌二君） 健康であるということも一つの用素でもあるわけですよというように理解してもいいわけですね。

委員長（布施文子君） はい、田代課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） はい、そのようにご理解ください。

委員長（布施文子君） 他に質疑はございませんか。はい、有道委員。

委員（有道典広君） 小さな質問ばかりしますけど、先程言われました社会福祉総務費の中に施設工事費が998万円あると言われました。何か土改連の事務所を解除ということで、その上で老人福祉センターが水が漏るからということで31万4,000円であと何箇月かかるかわかりませんが4月から移動されると思うんですけどそうだったら131万4,000円もですね一番雨の降らん時期ですから辛抱できんかなと思うんですが、どうでしょう。

委員長（布施文子君） はい、村田市長。

市長（村田弘司君） ご質問ですが、来年の4月に社会福祉協議会を現在の土地改良

団体連合会の建物ですね、移っていただくようにしてますけど。今使っておられるセンターですね、廃止条例出してますけど。あそこはそのまま置いておいて利用しないというのはもったいないですから、今合併しまして非常にオフィス機能、市庁舎のですね手狭になっております。ですからあちらのほう空き家になりますから使わせていただくと言うことで行政のセンター機能を更に充実させようかと言うふうに考えてますので、雨が漏っておっては仕事になりませんから。ということで130万程度掛けて雨漏りを直すと言うことです。以上です。

委員長（布施文子君） よろしゅうございますか。はい、どうぞ続けてください。

委員（有道典広君） それとあとは予防費の先程日本脳炎のこと言われましたけど対象者が、例えば幼児だけとか、それが一つで、学校の校舎の整備費、施設整備、美祢市にどのくらい校舎があつて、今年度でたぶん終わりじゃないと思うんですけど、来年もあるんじゃないかと思うんですが、その辺の状況を概要でいいですから、今何校のうち急いでいる学校等2校か3校やってるとか、その程度で結構ですから、まだあるのかないのかと言うことをちょっと教えていただきたい。その2点だけお願いします。

委員長（布施文子君） はい、古屋次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） 今、日本脳炎の対象者というふうに言われましたが、この度細胞培養のほうで副反応が少ないと言うことで、この日本脳炎の予防接種というのは予防接種法に基づく定期の予防接種スケジュールというふうになっておりまして、1期が3回、初回接種が2回と生後6箇月から90箇月未満、標準として3歳ですね、これ2回打って、それから追加接種ということで1回なんですけども初回接種後概ね1年後標準として4歳ということになっております。だから2期として1回ほど打つようになるんですけど9歳以上の13歳未満の者、概ね標準として9歳と言うことでございまして、これをそれぞれ対象者ごとにちょっとひらっていったら約先程310人と言いましたけど313人ぐらいなるんじゃないかと言うことでございまして追加分を計上させていただきました。

委員長（布施文子君） はい、国舛局長。

教育委員会事務局長（国舛八千雄君） それでは有道委員さんのご質問にお答えいたします。現在市内にですね校舎が51棟ございます。そして屋内運動場が30棟、計81棟あるわけでございますが、その中で昭和56年以前の建物というのが29棟ございます。この中で第1次診断をやりまして1棟ほどは耐力性があると言うことでご

ざいましてあとの21棟はいずれにしろ耐震化が必要ということになっておりまして0.3未満といたしますが、早急に耐震補強をしないといけないのは11棟でございます。その中で今回お出ししておりますのは9棟は22年度中には工事は完了したいということでご報告させていただいております。そして1棟、大嶺中がですねこれも0.3以下ということ非常に古い校舎になっております。耐力もないということでございますが、これは今回出しておりませんが、できるだけ早い時期にですね大嶺中学校の校舎の耐震化も図って行きたいというように思っております。あとの残り分はいずれ第1次診断の結果で今出ております11棟が終わりましたら後には耐震化も必要だろうというように思っております。以上でございます。

委員長（布施文子君） よろしゅうございますか。その他質疑はございませんか。はい、徳並委員。

委員（徳並伍朗君） その他の項でもいいと思ったんですが、インフルエンザの件が出ましたので、ちょっとお聞きしたいのですが、小・中学校の中でインフルエンザで学校閉鎖だとか学級閉鎖等もありますが、現在どのようになっているのかというのをわかれば教えていただきたいと思えます。

委員長（布施文子君） はい、古屋次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） インフルエンザの状況でございますけれども日々発生しております。今こちらのほうの概算では生徒数の2割から3割ぐらいが罹患する言うふうに考えております。詳しい情報等についてはですが、ホームページに行っただけであれば今までの学級閉鎖、学校閉鎖等についてそれぞれ表にして上がっておりますのでそちらのほうを確認していただきたいと思えます。（発言する者あり）

委員長（布施文子君） はい、松本課長。

教育委員会事務局学校教育課長（松本孝志君） 失礼します。今ですねインフルエンザ発生状況なんですが、11月25日現在の数字ではあるんですけども罹患率のほう小学校が21%、中学校も21%、全体でも21%という状況でございます。それから学級閉鎖を実施している学校でございますが、これまで小学校が12学級、中学校が8学級、それから学年閉鎖をしているところが小学校が12学年、それから中学校が4学年、それから休校をしてるのが小学校が3校であります。ただ11月25日から現在もまだ増えているところもありますので若干数字が増えています。以上でございます。

委員長（布施文子君） はい、萬代委員。

委員（萬代泰生君） 今の小学校の状況はわかったんですが、ちょっと私は新型ワクチンが市内で各病院に行き渡っているのかどうかちゅう状況をちょっと知りたいのですが、12月の広報でしたか、新型インフルエンザのワクチン接種の順序表というかそういうものが広報で発表されておりましたけれども、市立病院に行ったときに新型インフルエンザはまだワクチンがありませんから全然受けられませんというふうな回答だったんですが、状況がどうなってるのかということで、ちょっと保健センターのほうに問い合わせをしまして市内のある医院にはあるけれども他の状況はちょっとわからないというふうな返事もあったんですが、そこら辺で市民の人もですね広報ではこういう形でインフルエンザの予防接種が受けられますよという広報出されておられるけれども実際に各医院にそのワクチンが行き渡っているのかどうかとすることをちょっとお尋ねしたいんですが。

委員長（布施文子君） はい、古屋次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） 各医院に何本行ってるかということはですねちょっと各医院さんにお問い合わせしてもちょっとそれはということで今全体で需要量と言いますか、全体で20%ぐらい。2割ぐらいしか供給がされてないというふうな状況です。今から順次供給はされていくとは思いますが、県下の全体のところまでしかちょっとわかってなくてですね各医院さんいかがでしょうかというところとちょっとばらつきがあるようでちょっとその辺は十分には承知しておりません。すみませんけれど。

委員長（布施文子君） はい、萬代委員。

委員（萬代泰生君） 市民の人も広報見てじゃあ何月から受けられるんじゃないという認識もたれると思うんですよね。やはりそれで各医院に行ったときにうちにはありませんからできませんよじやなかなか市民の人も大変だなじゃあどこ行ったら受けられるのか、という情報が知りたいと思うんですよね。今後この件に関しては保健センターのほうでですね絶えず市内のワクチンの状況というかそれを市民にお伝えしていただけるように準備というかそういう指導をお願いしたいというふうに思いますのでその点についてよろしくお願いたします。以上です。

委員長（布施文子君） はい、古屋次長さんのほうはご回答よろしいですね。

市民福祉部次長（古屋勝美君） 委員さんおっしゃられるように努力して参りたいというふうに思っております。

委員長（布施文子君） その他質疑は、はい、山本委員。

委員（山本昌二君） すみません。先程大嶺中学校の耐震励行0.3以下というご説

明ございましたが、実は先週水曜日でしたか火災訓練があそこございましたので、私もちょっといろいろとお世話になっておりますのでお邪魔したんですが、そこで確かに校長先生にお聞きしたら45年前に建築された校舎というご説明がございました。この夏も一部壊れた部分はあると言うことで非常に不安がっておるということでしたが、240名の生徒が非常に生き生きとして元気よく勉学にまた運動と言いますかあらゆるものに励んでおるという姿をずっと見て非常に安心しましたが、一時も早くそういう耐震関係の調査をしていただきたい。45年たっておるということは今ちょっと計算したんですが、昭和40年頃に建設された学校のように思われます。どうか子どものですね安全を守るということのできるだけ早く耐震の調査をしていただいてそれなりの対応を一時も早くしていただきたいと言うふうに思っております。他の学校にも一つ一つありますけれどもこれにつきましては教育委員会のほうへ直に話しておる部分もございますけれども他はよく管理されておるように感じておりますが、特に大嶺中よろしく願いをいたしたいと思えます。以上です。

委員長（布施文子君） はい、何かご回答ありますか。はい、国舛局長。

教育委員会事務局長（国舛八千雄君） 今、山本委員さんからご質問がございましたけど今早急にやらなければいけない11棟のうち9棟は22年度で工事を完了する予定にしております。それで大嶺中は2棟ほど校舎は残りますが、これにつきましてもできるだけ早くその耐力度調査を行いまして進めて参りたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

委員長（布施文子君） その他ございませんか。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

委員長（布施文子君） ご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

委員長（布施文子君） それでは、これより、議案第1号平成21年度美祢市一般会計補正予算（第6号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

委員長（布施文子君） 全員異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。それでは1時間経ちましたので、11時まで休憩をいたします。ちょっと短うございますが午前中に終わりたいと思えます。

午前10時52分休憩

午前 11 時 03 分再開

委員長（布施文子君） 休憩前に続きまして審議を続行いたします。

議案第 2 号平成 21 年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）を審査いたします。執行部より説明を求めます。山田部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 議案第 2 号平成 21 年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）についてご説明をいたします。補正予算書 2 - 1 ページをご覧下さい。今回の補正は、歳入歳出それぞれ 6,841 万 7,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 33 億 3,599 万 8,000 円とするものです。最初に歳出についてご説明をいたします。2 - 10、2 - 11 をお開き下さい。1 款総務費人件費につきましては、省略をさせていただきます。10 款諸支出金、償還金及び還付加算金、償還金、利子及び割引料として 176 万 2,000 円の増額補正です。これは、平成 20 年度特定健康診査、保健指導事業費確定に伴う精算金、国及び県への償還金です。続きまして、11 款予備費でございますが、今後の医療費の増数に備え 7,716 万 3,000 円の増額補正です。次に歳入についてご説明をいたします。2 - 8、2 - 9 ページをお開き下さい。9 款繰入金、他会計繰入金、一般会計繰入金、職員給与費等繰入金 1,050 万 8,000 円の減額補正です。これは、人件費相当額の減額となります。続きまして、10 款繰越金、繰越金、その他繰越金ですが、平成 20 年度決算の結果 7,892 万 5,000 円を増額補正し、充当するものであります。以上で説明を終わります。

委員長（布施文子君） 説明が終わりました。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

委員長（布施文子君） ご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それでは、これより議案第 2 号平成 21 年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）を採決いたします。

原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） 全員異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第 6 号平成 21 年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）を

審査いたします。執行部より説明を求めます。岡村課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） それでは、議案書の6 - 1ページをお開き下さい。議案第6号平成21年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）概略についてご説明いたします。この度の補正は総務費において総額636万9,000円の職員の人件費等によるもの、介護予防一般高齢者施策事業として介護予防実態調査分析支援事業212万7,000円を新たに追加し、また諸支出金として前年度事業の精算の結果、超過交付となりました、介護給付費に関する国庫支出金等の返還金として2,767万4,000円を追加するものでございます。それと、将来の介護給付費の支給に備えるため基金積立金として5,000万円を積み立てるものであります。また、今後の介護給付費の増額に備えるため予備費として1,623万8,000円を追加計上しております。以上歳出につきましては、総額1億240万8,000円を追加するものでございます。なお、補正に要する財源といたしましては、国庫支出金が212万7,000円、一般会計繰入金が636万9,000円を充当するとともに、平成20年度の繰越金が9,391万2,000円を追加するものとなっております。以上により規定の歳入歳出予算額の総額に歳入歳出それぞれ27億9,151万3,000円とするものでございます。それでは、歳出について説明いたします。議案書の10ページ、11ページでございます。人件費については省略いたします。認定調査等経費74万でございますが、これは内訳といたしましては臨時職員の賃金92万9,000円で、介護認定調査件数の増及び調査員の退職等により9月1日より1年の調査員の増を行ったためでございます。次に認定調査委託料の18万9,000円でございますが、調査員の増によりまして当初市外の人調査を一部委託をする予定でございましたが、直営で行うということで減額するものでございます。次に地域支援事業介護予防事業費、介護予防一般高齢者施策事業費の212万7,000円でございますが、これは平成21年度から介護予防実態調査分析支援事業を行うもので、この事業の内容につきましては、国のモデル事業として平成21年度から平成23年度の3年間の予定で、運動器疾患対策プログラム事業として65歳以上の高齢者にアンケート調査を実施し、運動機能の低下が見られる高齢者に対し、転倒、骨折、腰痛等の介護予防事業を行うものでございます。内容につきましては報償費として127万6,000円、これは医師、看護師等の謝礼でございます。次に旅費ですが、44万5,000円これは、この事業に伴う指導者、担当職員の出張旅費等でございます。次の消耗品の1万9,000円、これはアンケートの封筒代

等でございます。通信運搬費の8万7,000円につきましては、郵便代等でございます。機械器具の購入費30万円でございますが、これはこの事業に伴う運動器教室用の機材トランポリンを買っておりますけども、これの経費として支出するものでございます。なお、この事業の財源につきましては全て国庫事業で全額補助でございます。めくっていただきまして、地域支援事業の包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費の補正額639万6,000円これは人件費でございます。介護給付費準備基金積立金の5,000万円ですが、これは先ほど言いましたように将来の介護給付費の増額に備えるための積み立てる積立金でございます。次に諸支出金、償還金及び還付加算金、償還金の2,767万4,000円ですが、これは平成20年度の介護給付費の国、県の負担金の精算によるもので国、県に還付するものでございます。次に予備費の1,623万8,000円ですが、平成21年度への繰越金で次年度以降の介護給付費等の増加に備えるためのものでございます。次に歳入について説明いたします。議案書の8ページ9ページ歳入についてご説明いたします。国庫支出金、国庫補助金の地域支援事業交付金（介護予防事業費）の212万7,000円ですが、先ほど歳出で説明いたしましたように、国のモデル事業であります介護予防実態調査分析支援事業の国費分でございます。次に、繰入金、一般会計繰入金の地域支援事業繰入金包括的支援事業・任意事業の639万6,000円でございますが、これは包括職員の6名分の人件費でございます。次に職員の給与費につきましては、人件費でございますので省略いたします。次に事務費繰入金の74万でございますが、介護認定調査員1名増に伴う賃金でございます。次に繰越金の9,391万2,000円ですが、これは平成20年度決算に伴う次年度への繰越金となっております。これにつきましては、9月議会で決算報告をしております。以上でございます。

委員長（布施文子君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それではご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それでは、これより議案第6号平成21年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）を採決いたします。

原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） 全員異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決さ

れました。

次に、議案第8号平成21年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）を審査いたします。執行部より説明を求めます。山田部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 議案第8号平成21年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）についてご説明をいたします。補正予算書の8-1ページをご覧ください。今回の補正は歳入歳出それぞれ150万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億3,836万1,000円とするものであります。最初に歳出についてご説明いたします。8-10、8-11ページをお開き下さい。1款総務費、徴収費、徴収費、役務費につきましては、特別徴収から普通徴収に変更となることによる督促状の増加に伴う郵券料で9万2,000円の増額補正となります。次に2款後期高齢者医療広域連合納付金、後期高齢者医療広域連合納付金、負担金及び交付金で、これは平成20年度後期高齢者医療保険料の精算金で44万5,000円の増額となります。続きまして、3款諸支出金、償還金及び還付加算金、保険料還付加算金、還付金、償還金、利子及び割引料として97万2,000円の増額です。これは、平成20年度中の死亡、転出及び保険料の変更等に伴う過誤納付還付金です。次に歳入についてご説明をいたします。8-8、8-9ページをご覧ください。5款繰越金、繰越金、繰越金、前年度繰越金ですが、これは平成20年度決算の結果150万9,000円を増額補正するもので、先ほどご説明いたしました、歳出に充当するものであります。以上で説明を終わります。

副委員長（河本芳久君） 別件でこの後期医療制度についてお伺いしたいんですが、政権交代に伴っているいろいろな事業仕分け等もなされた中で後期医療に関しては特別話題にあがっておらなかったけども、動向として、今後の動向としてどう受けとめておられるかをお尋ねします。

委員長（布施文子君） はい、山田部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 大臣の表明によりますと、廃止の決定がなされておりました、今専門の方たちで会合をもたれておりました、今後どうするかということを検討されてる状況であります。

委員長（布施文子君） はい、河本委員。

副委員長（河本芳久君） 当然、22年度の新年度予算にも何らかの影響があるわけですね。

委員長（布施文子君） はい、山田部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 22年度、23年度につきましてはまだ検討の段階でこちらの制度そのものについては変更はないと考えております。

委員長（布施文子君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それではご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それでは、これより議案第8号平成21年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） 全員異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

以上で本委員会に付託されました議案5件につきまして審査を終了いたしました。その他、委員の皆様から何かございましたらご発言をお願いいたします。

はい、有道委員。

委員（有道典広君） その他ですから2つほどお聞きしたいのがあります。1つは先ほどの予算のことで聞けばよかったかどうか分かりませんが、予備費と基金とかいろいろありますが、大体、目安というのはあるのかどうかというのをですね、大体、1割を目処にとか、この度でもわずか1円か2円が5,000万円に増えとるとか、そういうなのがありますから、ちょっとそういう目標があるのかを教えていただきたい。それともう1つは市長にお尋ねしたいんですが、美祢市の私立の保育園の中で廃止をしたいなという話が聞いております。旧美祢市ですけど、於福も幼稚園もありませんし、また私立の保育園も廃園しようかなという話も出て、だんだん私立の幼稚園と保育園がちょっと大変な経営状況ではなからうかと私は思っております。いくつかの保育園、幼稚園に給料とかもですねいろいろ含めて運営はどうなってるのかなというのをお聞きしましたけど、大変きついような状況ですね。施設の補助とかいうのも昔よりも半分以下に下がっておるんじゃないかと、すべてあってるかどうか分かりませんが、運営が苦しいのは間違いないような感じがします。それに比べてですね、美祢市立ですね、そういったほうの保育園とかいうのはやはり生徒も集める努力とか、建物の維持管理費とかそういった面で多少やりやすいんじゃないかと。また給料の面でも結構いい給料をいただいております。私立のほうは給料も採算

をおさえながら運営していると。あれこれ私立と美祢市立の比べる話ではございませんが、幼稚園や保育園がだんだん無くなるという私立の事情を鑑みると今後やはり幼児教育とか大変になるんじゃないかと思えますんで、その辺できればですね、補助を増やすなり運営の補助というかそういう何か助けが必要なんじゃないかと思ってちょっと質問させていただきました。この2つほど。

委員長（布施文子君） はい、國舛局長。

教委事務局長（國舛八千雄君） 私立幼稚園の関係でございますが、一応今のところそれぞれそこに勤めていらっしゃるかたを対象といたしましてひとり当たり11万4,000円を補助をいたしております。施設には1園当たり54万ぐらいを私立幼稚園には補助いたしております。私立幼稚園の場合は1年間でございます。

申し訳ありません。今ですね、各幼稚園の施設運営費ということで81万です。1つの施設にですね。

委員長（布施文子君） 山田部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 保育園につきましては今手元に資料がございませんので、今取って参りますのでしばらくお待ちいただけたらと思います。その間に基金のほうを説明いたします。国民健康保険の基金についてですが、11年度に国民健康保険の保険者の予算編成についてという、古いものになるんですが、国民健康保険財政の基盤を安定・強化する観点から基金の保有額については過去3年間における給付費の平均年額の5%以上に相当する額を積立ることという一応の基準がございます。以上です。（発言する者あり）予備費については特に基準というのはございません。

委員長（布施文子君） 有道委員。

委員（有道典広君） よく三好議員が質問されてますからどういう目安で残しておられるのかなと思ってちょっと聞きたかったのとですね、保育園のことは値段は今じゃなくても結構です。値段をどうのこうの言っておるんじゃないかとそうやってまた廃園になるのがひとつまた次も増えるんじゃないかというちょっと危機感を、その辺を含めて市長のお考えを聞きたかったと。だから金額じゃないんです。どうしても私立も必要じゃないかと。

委員長（布施文子君） はい、村田市長。

市長（村田弘司君） 実態をですね皆さんにお話した上で私のほうからお答えを申し上げようと思ったんですが、今私立の幼稚園については教育委員会のほうから申し上げたとおりですので。というのがですね、今おわかりのように教育委員会が幼稚園、

民生のほうが私立の保育園を管理しているということで、実は国の所管が厚生労働省と文部科学省と大きく分かれてます。新聞の報道等でご存じでしょうけれども、この新政権が今の保育園と幼稚園というのがそれほどの差異がないと、実態に。ということでもう同一の省庁が管理をして一体的に全国の保育園と幼稚園を存続させる形にもっていかうということでは腹を固めておられるようです。それに基づいて今後ですね、地方自治体もですね、合わせた形で、どういうふうな形で公立も、ここで言えば美祢市立それと民間が一生懸命やっておられますね、言われるように、子どもの教育も保育もやっていただいております。そのことも含めて国の大方針が決まらないとまず私立のこの部分についてもどれほどのお金をちょうだいできるようになるかわかりませんし、今の幼稚園費とか民生費のほうで私立の保育園なり幼稚園のほうにも補助をしております。その部分についてもどの程度国のほうでバックアップをさせていただけるかということも明確に今わかっておりません。それも含めて、幾度も申し上げますけど市長会のほうで早く方針を出して欲しい。それについてはすべからくの国民の方、この場合は幼児なり児童ですね、のことも基礎自治体がやっております。そのことの明確な方針がわからないと直接的にお困りになるのは国民であり市民であるわけですから、早く大方針を示して欲しいと幾度も申し上げます。それに基づいて我々は、基礎自治体はこれから先の5年先、10年先の計画を立てた上でどういう形で補助をしていけば適正な形で子どもさんの保育・教育ができるか、それは今後の我々の定住ですね、人口の増にも繋がる人口の減を防ぐためにも繋がってきますんで大事な部分ですから、今国に対して強く要請しております。それを踏まえないとなかなか今1自治体の段階でお話ができづらい状況にあるということをご理解賜りたいと思います。それを今私も働きかけてますからそれを出てきた段階で、それを受けてじゃあ美祢市は人口構成そしてその実態を踏まえた上で今後どうしていこうかということの方針を出したいというふうに考えてますのでそれまでちょっとお待ち願いたいと思います。大事な仕事をさせていただいておるのは重々承知しております。がんばっていただいておりますというふうに思っております。

委員長（布施文子君） はい、國舛局長。

教委事務局長（國舛八千雄君） 先ほど最初に54万、あとから81万と言いましたが、申し訳ありません。年々下がってきておりまして20年度は54万でございましたので訂正させていただきます。

委員長（布施文子君） はい、田代課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 平成20年度の決算の数値を持ってきたところでございますけれども、私立の4園、これに対しまして幼児保育振興費補助金といたしまして単独市費でありますけど、保育士の人数割、また調理員の人数割ということで各園には補助金を交付をしております。また4園に対して保育所の整備費補助金も各園同額を補助しておるところです。また別に次世代交付金、国庫負担金をいただける事業でございますけども、延長保育を促進していただくということでのこの事業を実施し、各園に補助金・委託料のようなものを交付をさせていただいた経緯がございます。以上でございます。

委員長（布施文子君） 有道委員。

委員（有道典広君） 市のほうの事情はよくわかりました。何はともあれやはり私立ですから園児の募集から建物の償却からいろんな大変な経費がかかっております。運営が難しいというのはだんだん止めていった園があるというのが増えてくるのではないかと、過去の例もいろいろありますから今後のためにできるだけの対策と援助をしてあげたらと思います。ありがとうございました。

委員長（布施文子君） 今の件につきまして何かございますか。その他別件で。はい、萬代委員。

委員（萬代泰生君） その他の項目でもう1点お尋ねします。教育問題なんですが、これは12月1日の山口新聞で報道された記事でございます。県内の学校で暴力行為が増加しているという記事が出てたわけですが、当然皆さんも目を通しておられると思うんですが、美祢市の中で学校内の暴力行為があるのかなのか、その点だけお尋ねしておきたいと思います。もしあればどういう指導をしているのかその辺も含めてお尋ねをしたいと思います。

委員長（布施文子君） はい、松本課長。

教委学校教育課長（松本孝志君） 美祢市の小学校・中学校とも大変落ち着いた状況にあります。昨年度も比較的落ち着いた学校の状況だったんですが、今年度はより以上に各学校とも落ち着いた状況で、暴力行為もほとんどないという状況です。ただ生徒間でケンカであるとかそういうのはありますけど、それほど大きなことはほとんど今、発生しておりません。以上です。

委員長（布施文子君） その他ございませんか。はい、山田部長。

市民福祉部長（山田悦子君） 先ほどの有道委員のご質問で基金と予備費のことなんですが、追加で説明させていただきます。基金についてはうちの場合5%を超えてい

るんですが、基金の積立額が5%を超える保険者であっても国民健康保険財政の基盤を安定・強化する観点から安定的かつ十分な基金の保有が望ましいので所要の基金の造成に努めることという文も入っております。それと予備費について先ほど規定はないと申し上げましたが、保険給付費の3%以上の額を計上することが適切であるというのがありましたので追加で申し述べさせていただきます。

委員長（布施文子君） はい、ありがとうございました。委員さんのほうからよろしいですか。それでは國舛局長さんのほうから申し出がございましたのでお願いいたします。

教委事務局長（國舛八千雄君） それでは教育委員会の評価・点検の件でございますが、これは昨年、平成20年の4月にですね、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、これが一部改正されまして、教育委員会では毎年その権限に関する事務の管理及び執行状況について点検、評価を行い、その結果を報告書をまとめ議会に提出するとともに公表しなければならないということになっておるわけでございます。そういうことで昨年は合併年でもございましたので評価・点検の実施方針、それと評価シートを議員さんのほうへ提出をさせていただきました。それできょう20年度分を議長さん宛に提出をさせていただきましたのでこの場でご報告をさせていただきたいというふうに思います。

委員長（布施文子君） ということでございますが、この件につきまして質問ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（布施文子君） それではございませんようですので、これで本委員会を閉会したいと思います。ご審査、ご協力誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午前11時36分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成21年12月7日

教育民生委員長

布施文子